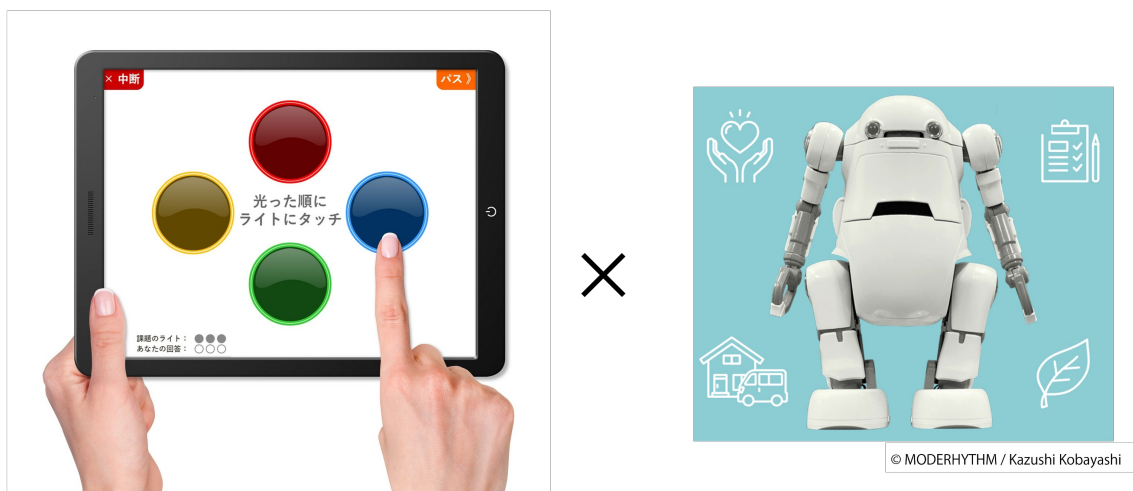


(株)リビングロボット、東京ケアウィーク「ヘルスケアジャパン '23 第6回介護予防総合展」に株式会社トータルブレインケアと共同出展。健康寿命の延伸への活用を目指します。

「見守りウィーゴ」をはじめとする介護分野での取り組みが、超高齢社会の課題を解決するため開催される大規模な展示会にて紹介されます。

株式会社リビングロボット（本社：福島県伊達市、代表取締役社長：川内康裕、以降リビングロボット）は、2023年3月22日(水)～24日(金)まで東京ビッグサイトで開催される、東京ケアウィーク内の「ヘルスケアジャパン' 23 第6回介護予防総合展」に、株式会社トータルブレインケア（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：河越眞介、以下トータルブレインケア）が開発した脳体カトレーナーCogEvo®との連携を共同出展いたします。



今回の展示会では、「見守りウィーゴ」の介護事業における活用の可能性を、製品のデモンストレーションを交えてご紹介いたします。

① 脳体カトレーナーCogEvo®（以下CogEvo）との連携

トータルブレインケアとの共同出展で、同社が開発したCogEvoと見守りウィーゴの連携機能を共同出展します。

12種類のゲームを通じ、楽しみながら手軽に認知機能別トレーニングと認知機能チェックができるクラウドサービスと「見守りウィーゴ」が連携。「見守りウィーゴ」からの声かけを通じ、楽しみながら脳体力のトレーニングを継続することができます。

トータルブレインケアは「認知機能の見える化」で、人々が主体的にQOLの向上と真の健康を手に入れ、生涯現役を実現すると共に、医学・医療・介護分野で培ったエビデンスと実績により、健康経営・ヒヤリハット・スポーツ分野においても、様々なソリューションと共に次世代型ヘルスケアビジネスを創造し続けています。

人に寄り添うロボットをテーマとしているリビングロボットとの共同開発により、健康寿命の延伸への貢献を目指します。

② 「見守りウィーゴ」との連携の紹介

ベッドのシーツの下にセンサーマットを置くことで、リアルタイムに要介護者の睡眠状態がわかる睡眠見守りシステムとの連携を通じての高齢者の睡眠向上支援のご紹介をします。

③ センサーを活用したシステムの紹介

外部センサーとの連携で浴室内での転倒などの異常時にアラートを上げるシステムや「見守りウィーゴ」とリビングロボットで開発を進めている、匂いの技術を活用したライフスタイルスメルセンサーのご紹介もいたします。

<イベント概要>

タイトル：東京ケアウィーク内「ヘルスケアジャパン' 23 第6回介護予防総合展」

日時：2023年3月22日(水)～24日(金) 9：30～17：00 (受付開始 9：00)

会場：東京ビッグサイト 南展示棟

URL：<http://healthcarejapan.jp/>

株式会社トータルブレインケア

HP：<https://tbcare.jp/>

リビングロボットについて



リビングロボットは、人とロボットが共に生き、成長する社会の実現をめざして、パートナーロボットおよび関連技術の開発をおこなうテクノロジー企業です。プログラミング教育における「あるくメカトロウィーゴ」の活用をはじめ、さまざま分野での社会実装への取り組み、国内外の技術系イベントにおける製品の出展など、事業の拡大と社会貢献をすすめています。

あるくメカトロウィーゴ© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

本リリースのお問い合わせ先

リビングロボット

電話：050-8881-6955

Email：press@livingrobot.co.jp

株式会社リビングロボットのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/94064